

平塚市 土砂災害ハザードマップ

発行：平塚市長室災害対策課
年月：令和2年(2020年)3月

知っておこう土砂災害リスク！考えよう避難行動！

自宅周辺の土砂災害リスク	
自宅の土砂災害警戒区域	●土砂災害警戒区域(イエローゾーン) <input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし ●土砂災害特別警戒区域(レッドゾーン) <input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし
避難先までの土砂災害警戒区域	●土砂災害警戒区域(イエローゾーン) <input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし ●土砂災害特別警戒区域(レッドゾーン) <input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし
避難の方法	
避難の方法	<input type="checkbox"/> 立ち退き避難(水平避難) <input type="checkbox"/> 屋内安全確保(垂直避難) <input type="checkbox"/> 階に避難
指定緊急避難場所	
指定緊急避難場所	自宅～指定緊急避難場所までの時間

マイ・タイムラインを作ってみよう！



早めの避難を！

避難情報	
避難レベル3 避難準備・高齢者等避難開始 高齢者等避難に時間のかかる方とその支援者は避難を開始！ その他の方々は避難の準備。	避難レベル4 避難勧告(緊急) 災害が発生するおそれが高くて高い状況であり、すみやかに避難！ 指定緊急避難場所等への避難を基本とする避難行動をとる。
避難レベル5 災害発生情報 既に災害が発生している状況。 命を守るための最善の行動をとる！	

前兆現象とは

土砂災害の発生前には、前兆現象がみられることがあります。急傾斜地やがけの渓流付近にお住まいの方は、前兆現象などにより危険を感じたらただちに避難してください。その際は近隣の声かけをお願いします。安全を確保したあと、市に連絡して災害情報を提供してください。

がけ崩れの前兆現象	土石流の前兆現象
<ul style="list-style-type: none"> ●がけから小石が落下 ●湧水の濁り、停止、噴出 ●がけに亀裂が発生 ●地鳴り 	<ul style="list-style-type: none"> ●川の水の異常な濁り ●転石の音 ●土臭いにおい ●川の水位の激減 ●流木の発生 ●地鳴り

斜面は一瞬で崩れ落ちます。すみやかにできるだけ遠くへ逃げましょう。

土石流の流れる方向に対して直角に、少しでも高いところへ逃げましょう。

みなさんがとるべき行動

警戒レベル	みなさんがとるべき行動	避難情報等	防災気象情報
警戒レベル5	既に 災害が発生 している状況 命を守るための 最善の行動 を！	災害発生情報 (市が発令)	警戒レベル5相当情報 氾濫発生情報 大雨特別警報 等
警戒レベル4	すみやかに 避難先へ避難 移動が危険と思われる場合は、近くの安全な場所や、自宅内のより安全な場所に避難！	避難指示(緊急) 避難勧告 (市が発令)	警戒レベル4相当情報 氾濫危険情報 土砂災害警戒情報 等
警戒レベル3	避難に時間がかかる方 高齢者 障がい者 乳幼児 などと、その支援者は 避難！ その他の方は、 避難準備！	避難準備・高齢者等避難開始 (市が発令)	警戒レベル3相当情報 氾濫警戒情報 洪水警報 大雨警報 等
警戒レベル2	避難に備え、ハザードマップ等により、自らの 避難行動を確認！	洪水注意報 大雨注意報等 (気象庁が発令)	
警戒レベル1	防災気象情報等の最新情報に注意するなど、 災害への心構えを高める！	早期注意情報 (気象庁が発令)	

※避難指示(緊急)は、緊急又は重ねて避難を呼びかけるときに発令

これらは、みなさんが自主的に避難行動をとるために参考とする情報です。

日ごろの備え(非常時の持ち出し品)

避難時すぐに持ち出せる必要最低限の備え

- 救急・安全: 救急薬品、包帯、絆創膏、マスク、常備薬
- 貴重品: 身分証明書、現金、預金通帳・印鑑
- 水・食料: 飲料水、非常食
- 日用品: タオル、ビニール袋、懐中電灯、携帯ラジオ
- 衣類: 軍手、ヘルメット、厚底スニーカー、衣類・靴下

土砂災害とは

土砂災害とは、がけ崩れ・土石流・地すべりのことをいい、勾配の急な山や、がけ、渓流のある地域に発生します。

がけ崩れ	土石流	地すべり
雨や地震などの影響で地盤がゆるみ、突然斜面が崩れ落ちる現象(急傾斜地の崩壊)	山や川を構成する土砂が大雨などにより発生する大量の水と一緒に激しく押し流される現象	地下水などの影響により、斜面を構成する土塊が斜面下方に大きくすべりだす現象

※平塚市に地すべり危険箇所はありません

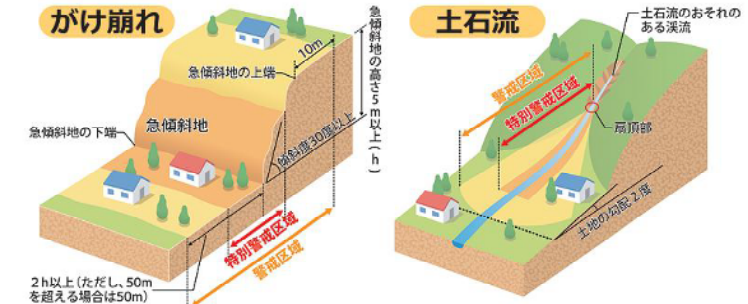
簡単な防災措置

土砂災害の危険から身を守るのはあなた自身です。家の周りを点検し、事前対策を施しましょう。

神奈川県砂防海岸課ホームページ「がけ崩れとは」を参考に作成

土砂災害警戒区域とは

神奈川県が土砂災害防止法に基づき、土砂災害への注意が必要な区域として土砂災害警戒区域を指定しています。土砂災害警戒区域は、傾斜地の形態に着目し一律に指定されるものです。区域に指定されることが直接土砂災害の危険性を示しているということではありません。



土砂災害警戒区域	●警戒避難体制の整備
土砂災害のおそれがある区域(イエローゾーン)	災害情報の伝達や避難が早くできるように警戒避難体制の整備が図られる(平塚市)
土砂災害特別警戒区域	●建築物の構造規制
土砂災害警戒区域のうち、建築物に損傷が生じ、住民に著しい危害が生じるおそれがある区域(レッドゾーン)	建築物の構造が安全であるかどうか建築確認がされる(平塚市)
宅地建物取引における措置	●特定の開発行為に対する許可制
警戒区域では、宅地建物取引業者は、当該宅地又は建物の売買等に当たり、警戒区域内である旨について重要事項説明を行うことが義務付けられています。	住宅宅地分譲や要配慮者利用施設の建築のための開発行為は、基準に従ったものに限って許可される(神奈川県)
●区域に関してのお問い合わせ	●建築物の移転
神奈川県平塚土木事務所 許認可指導課 TEL.0463-22-2711	著しい損傷が生じるおそれのある建築物の所有者に対し、移転等の勧告が図られる(神奈川県)

土砂災害に関する情報

土砂災害警戒情報とは

土砂災害警戒情報とは、大雨警報発表後も雨が降り続き、土砂災害の発生の危険性が高まったときに、神奈川県と横浜地方気象台が共同で発表する防災情報です。土砂災害警戒情報が発表された時は『いつ土砂災害が起きてもおかしくない』という非常に危険な状態です。この情報をもとに市は避難勧告等の発令の目安としますので、市から出る情報に注意してください。

大雨注意報、大雨警報、土砂災害警戒情報

- 危険箇所(山やがけ、斜面等)からすぐに離れましょう。
- 市が発令する避難情報に注意しましょう。
- 周囲の様子をよく観察し、前兆現象を見逃さないようにしましょう。
- 特に、土砂災害警戒区域では早めの避難を心がけましょう。

市民の皆さんへ

気象情報・注意報

土砂災害警戒情報

雨量/水位情報

避難情報など

ラジオ・テレビ

インターネット

防災行政無線

テレホンガイド

ほっとメールひらつか

広報車

ツイッター

データ放送 など

土砂災害警戒情報(気象庁ホームページ)
<http://www.jma.go.jp/jp/dosha/>

土砂災害警戒判定メッシュ情報(気象庁ホームページ)
<http://www.jma.go.jp/jp/doshamesh/> [右ページ参照]

情報の入手先

市では、テレビ・ラジオ・インターネットなどを通じて防災・災害情報、気象情報を発信しています。積極的に情報を入手し、「早めの避難」「落ち着いた行動」を心がけましょう。

- ラジオ・テレビ放送
FM湘南ナバサ(周波数78.3MHz)や湘南ケーブルネットワーク(SCN)、テレビ神奈川(TVK)、④データ放送を通じて防災番組や災害時の緊急放送・文字情報での情報提供を行います。
- 平塚市ウェブサイト
平塚市の防災・災害対策についてお知らせしています。
検索: 平塚市 災害対策課
- ほっとメールひらつか
平塚市地震風水害情報をパソコンや携帯電話に電子メールで配信します。(要登録)
検索: ほっとメールひらつか
- ひらつか防災気象ウェブ
平塚市のこれからのお天気や、土砂災害警戒情報が発表されているかを確認できます。
検索: ひらつか防災気象ウェブ
- ひらつかわくわくマップ
平塚市が保有する情報を市民のみなさんへ提供するサービスです。各種ハザードマップの閲覧や、土砂災害警戒区域が確認できます。
検索: ひらつかわくわくマップ
- twitter(市長室危機管理課・災害対策課)
twitter 防災ひらつか
[アカウント] @HiratsukaBosai
災害時の情報発信のほか、平塚市の危機管理に関する情報を発信します。
- 防災行政無線
屋外にあるスピーカーから、避難に関する情報などをお知らせするものです。
- テレホンガイド(利用には通話料がかかります。)
1時間以内に限り、防災行政無線で放送した内容を確認することができます。
180-99-4956 / 0463-22-4956

土砂災害の危険度分布(土砂災害警戒判定メッシュ情報)

土砂災害の危険度分布は、大雨による土砂災害発生の危険度の高まりを、地図上で5段階に色分けして示す情報です。常時10分毎に更新しており、土砂災害警戒情報や大雨警報(土砂災害)等が発表されたときに、どこで危険度が高まっているかを把握することができます。土砂災害発生の危険度が高まっているときは、土砂災害警戒区域から離れて、少しでも安全な場所への早めの避難を心がけてください。

土砂災害警戒判定メッシュ情報の表示例
(<https://www.jma.go.jp/jp/doshamesh/>)

気象庁ホームページ:「大雨警報(土砂災害)の危険度分布」より抜粋

色がつく意味	住民等の行動(例)	発令の目安とされる避難情報	相当する警戒レベル
極めて危険	過去の重大な土砂災害発生時に匹敵する 極めて危険な状況 。命に危険が及ぶ土砂災害が すでに発生 していても おかしくない 。この状況になる前に土砂災害警戒区域等の外の少しでも安全な場所への避難を完了しておく必要がある。	避難指示(緊急)	警戒レベル4相当
非常に危険	命に危険が及ぶ土砂災害がいつ発生しても おかしくない非常に危険な状況 。すみやかに土砂災害警戒区域等の外の少しでも安全な場所への避難を開始する。	避難勧告	警戒レベル3相当
警戒(警報)	避難の準備が整い次第、土砂災害警戒区域等の外の少しでも安全な場所への避難を開始。高齢者等は速やかに避難を開始する。	避難準備・高齢者等避難開始	警戒レベル2相当
注意(注意報)	ハザードマップ等により避難行動を確認する。今後の情報や周囲の状況、雨の降り方に注意する。特に、危険度分布をこまめに確認する。	-	-
今後の情報等に留意	今後の情報や周囲の状況、雨の降り方に留意する。	-	-